

キクの病害虫の発生状況（8月中下旬）

1 白さび病

発生ほ場割合は平年並でした（図1）。上中位葉で発生が見られる場合は防除を実施してください。本病はキクの品種によって発病に差があるので、発病しやすい品種では防除を徹底してください。

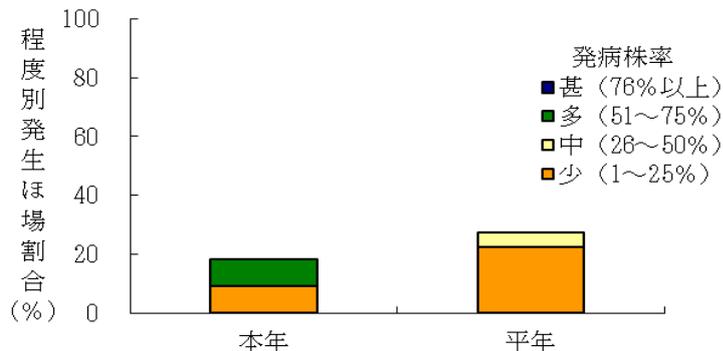


図1 白さび病の発生状況

2 アブラムシ類

発生ほ場割合は平年並でした（図2）。気温の上昇に伴って急激に増殖することがあるので、ほ場をよく観察し、発生が見られる場合は防除を実施してください。

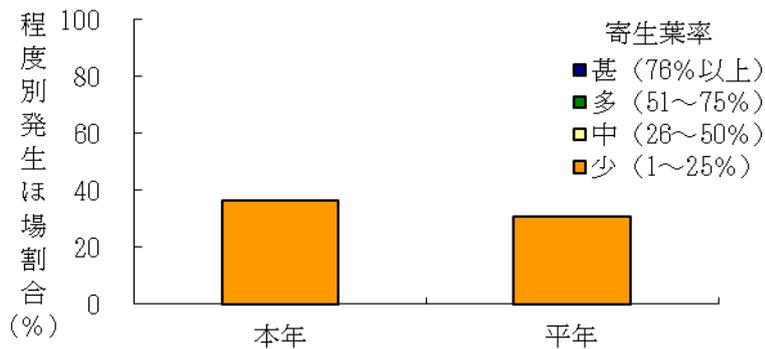


図2 アブラムシ類の発生状況

3 アザミウマ類

発生ほ場割合は平年よりやや高い状況でした（図3）。気温の上昇に伴って急激に増殖することがあるので、ほ場をよく観察し、発生が見られる場合は防除を実施してください。発生種がミカンキイロアザミウマの場合は、効果の高い薬剤が少ないので、薬剤の選択に注意してください。また、本種はTSWV等のウイルスを媒介するので注意が必要です。

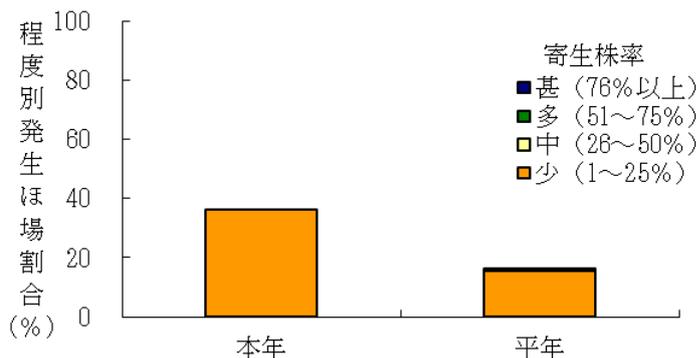


図3 アザミウマ類の発生状況

4 ハダニ類

発生ほ場割合は平年並でした（図4）。気温の上昇に伴って急激に増殖することがあるので、ほ場をよく観察し、発生が見られた低密度時から防除を実施してください。

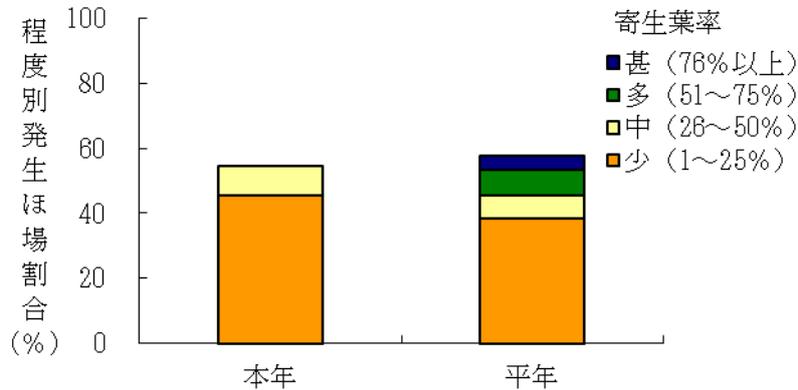


図4 ハダニ類の発生状況

5 オオタバコガ

発生ほ場割合は平年並でした（図5）。フェロモントラップ調査では、6地点中4地点で誘殺が確認されており、今後幼虫の発生が予想されます。ほ場をよく観察し、発生が見られた場合には防除を実施してください。

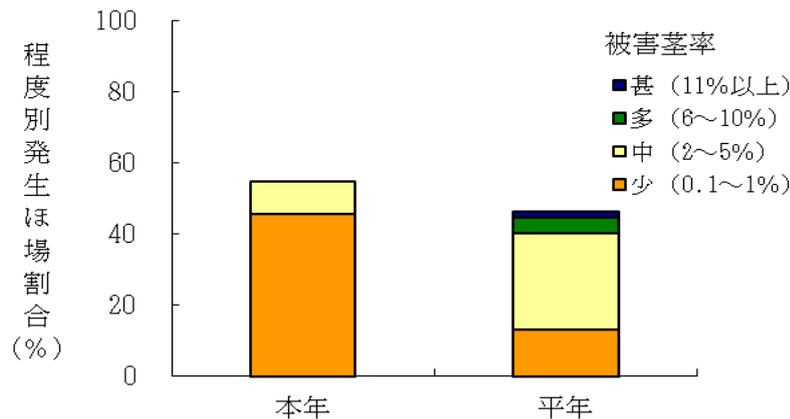


図5 オオタバコガの発生状況

- 情報内容への質問や要望は、福島県病害虫防除所までご連絡ください。

Tel:024-958-1709 Fax:024-958-1727 e-mail:yosatsu@pref.fukushima.lg.jp